

# 多収で外観および麦芽品質が優れる ビール大麦「はるさやか」

農産部

## 1 背景、目的

近年、ビール大麦では生育中の多雨や高温により、穂数や千粒重の減少および外観品質の低下により低収が続いています。また、県内で作付している既存の品種では、土壌伝染性病害であるオオムギ縮萎病（ウイルス系統Ⅲ型）による被害の拡大が懸念されています。一方、実需者からは麦芽品質が良好で、醸造上問題となる麦汁β-グルカン含有量が少ない新品種が望まれています。

そこで、国内で発生しているオオムギ縮萎病に対して抵抗性を有し、多収で外観品質と麦芽品質が優れるビール大麦新品種を育成しました。

## 2 成果の内容、特徴

「はるさやか」は、平成18年に「はるしずく」を母、「筑系9713」を父として交配した組み合わせから、オオムギ縮萎病抵抗性を有し、多収で外観品質および麦芽品質が良好であることを目標に育成しました。

本品種は、標準品種の「ほうしゅん」に比較して、次のような特徴があります。

- 1) 成熟期は同じ早生品種です。稈長は同程度で、穂数は多く、千粒重が重いため多収です。被害粒の発生は少なく、検査等級は優れています（表1）。
- 2) 麦芽総合評点は優れ、醸造上問題となる麦汁β-グルカン含有量は低いです（表1）。
- 3) オオムギ縮萎ウイルス系統Ⅰ～Ⅴ型の全てに抵抗性を有します（表2）。

### 3 主要なデータ・画像など

表1 「はるさやか」の生育・収量特性、外観及び麦芽品質

品種名	成熟期	稈長	穂数	整粒重	収量	整粒千粒重	被害粒発生率	検査等級	麦芽総合評点	麦汁β-グルカン
	月・日	cm	本/m <sup>2</sup>	kg/a	%	g	%			mg/L
はるさやか	5.17	77	446	31.6	120	42.7	2.5	2等中	79.1	40
ほうしゅん	5.17	77	390	26.4	100	40.6	6.2	2等下	73.2	49

注) 1. 育成地における平成24~27年度の平均値(各年11月下旬播種)。麦芽総合評点と麦汁β-グルカンは栃木農試による分析値。

2. 整粒は粒厚2.5mm以上の粒、千粒重は無水換算値。

3. 被害粒発生率は、側面裂皮粒、凸腹粒、剥皮粒の各発生率の合計値。

表2 「はるさやか」のオオムギ縞萎縮病抵抗性

品種名	オオムギ縞萎縮病				
	I型	II型	III型	IV型	V型
はるさやか	抵抗性	抵抗性	抵抗性	抵抗性	抵抗性
ほうしゅん	抵抗性	抵抗性	感受性	抵抗性	抵抗性



図1 「はるさやか」の草姿